

あわつと感染症情報 (2026-11)

千葉県安房保健所発
2026 年 3 月 19 日配信

今週のトピックス

安房管内で麻疹(はしか)患者が発生しました!

鴨川市在住の20代男性が、令和8年3月10日に麻疹と診断され、医療機関から安房保健所に発生届がありました。今年の千葉県での麻疹の発生は、累計9例目となりました。

患者の疫学調査を行った結果、他の人に麻疹を感染させてしまう可能性がある期間に不特定多数の方が利用する施設等を利用していたことが判明しましたので、同じ時間帯に利用された方で発熱や発疹等、麻疹を疑うような症状があれば、事前に最寄りの保健所に電話連絡し、指示に従い、医療機関を受診してください。

麻疹の感染力は非常に強く、感染した場合、更に多くの感染者が発生するなど社会的影響が大きい感染症です。手洗い、マスクのみでは予防できません。

麻疹の予防には予防接種が最も有効です。2回の定期接種を必ず受けましょう。

<参考> 麻疹(はしか)の発生について(千葉県)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/press/2025/260313measle.html>

! 麻疹は5類感染症・全数把握疾患です。

診断した医師は、直ちに最寄りの保健所に発生届を提出する必要があります。

麻疹を疑った時点で、まずは保健所へご一報ください!

また、安房保健所では「医療機関向け麻疹届出に関するハンドブック」を作成しました。

麻疹を疑った場合の対応について記載がありますので、ご参考ください。

<医療機関向け 麻疹届出に関する ハンドブック(安房保健所)>

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-awa/documents/hp.pdf>

<参考>・麻疹(はしか)にご注意!(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/mashin.html>

・麻疹(五類)(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

安房管内の感染症発生状況

インフルエンザ

安房

県内

★安房管内における2026年第11週(令和8年3月9日~令和8年3月15日)定点医療機関当たりの報告数は2.83人と前週5.33人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は9.38人と前週12.44人と比べ、減少)

県内での報告数が警報基準値「10」を下回ったため、令和8年3月18日をもってインフルエンザ警報が解除となりました。

<参考>インフルエンザから身を守ろう(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influenza-yobou.html>
インフルエンザ警報の解除について(千葉県) <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/2026influalertlift.html>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

安房

県内

★安房管内における2026年第11週(令和8年3月9日~令和8年3月15日)定点医療機関当たりの報告数は2.25人と前週0.75人と比べ、増加しました。

(県全体の報告数は3.05人と前週2.65人と比べ、増加)

<参考>・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-17.html>

感染性胃腸炎

安房

県内

★安房管内における2025年第11週(令和8年3月9日~令和8年3月15日)の定点医療機関当たりの報告数は0.25人と前週1.00人と比べ、減少しました。

(県全体の報告数は4.94人と前週5.59人と比べ、減少)

<参考>・感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>

❀安房管内の全数届出疾患❀

全数届出疾患:全ての医師の方は、対象の感染症の診断を行った際に、掲載の届出様式により最寄りの保健所に届け出る必要があります。

< 4類感染症 >

・レジオネラ症 1件

レジオネラ属菌とは、自然界(河川、湖水、温泉や土壌など)に生息している細菌で、感染するとレジオネラ症を引き起こします。

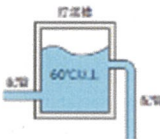
潜伏期間(感染してから症状が出るまでの期間)は、2～10 日です。レジオネラ症の主な病型としては、重症のレジオネラ肺炎と軽症のポンティアック熱が知られています。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛などの症状に始まり、咳や 38℃以上の高熱、寒気、胸痛、呼吸困難が見られるようになります。ポンティアック熱は、突然の発熱、悪寒、筋肉痛などの症状がみられますが、またそれらは一過性のもので、自然に治癒します。

Q レジオネラ属菌が発生しやすい場所はどこですか。

A 以下の場所に発生しやすいので特に注意して清掃・消毒を行いましょう。

貯湯槽

貯湯槽の中や配管では、お湯の滞留時間が長いため、高い水温ではレジオネラ属菌が繁殖しやすい環境となります。お湯を常に 60℃以上に保ち、お湯を循環させないようにしましょう。



気泡発生装置
ジェット噴射装置
打たせ湯

気泡発生装置やジェット噴射装置、打たせ湯などでは、エアロゾルが発生します。そのため、エアロゾルにレジオネラ属菌が含まれることがないように、連日使用している循環させた浴槽水をこれらには使用しないようにしましょう。また、空気取入口から土ほこりや浴槽水等が入らないような構造にしましょう。



シャワー

シャワーの内部でレジオネラ属菌が増殖し、エアロゾルとともに吸入してレジオネラ症が発生することがあります。連日使用している循環させた浴槽水をシャワーには使用しないようにしましょう。少なくとも週に 1 回、内部の水が置き換わるように水を流しましょう。シャワーヘッドとホースは 6 か月に 1 回以上点検し、内蔵の汚れとスケールを 1 年に 1 回以上洗浄、消毒しましょう。



ろ過器

ろ過装置内で、レジオネラ属菌はアメーバなどに寄生し増殖します。そのため、循環式浴槽のろ過装置は、1 週間に 1 回以上、十分に逆流洗浄して汚れを排出するとともに、生物膜を除去しましょう。塩素系薬液の投入口は浴槽水がろ過装置に入る前に消毒する必要があります。



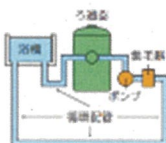
露天風呂

露天風呂は外界と接しているため、レジオネラ属菌に汚染される機会が多くなります。露天風呂の浴槽底が配管を通じて内湯に流らないようにしましょう。



循環配管

循環配管の内壁には、生物膜が生成されやすく、レジオネラ属菌の温床となります。年に 1 回程度は、循環配管内の生物膜を除去し、消毒する必要があります。



< 参考 > ・レジオネラ対策(厚生労働省) <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000124204.html>
 ・レジオネラ症(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html

< 5 類感染症 >

・梅毒 1件

梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症で、主にセックスなどの性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。

オーラルセックス(口腔性交)やアナルセックス(肛門性交)などでも感染します。また、一度治っても再び感染することがあります。

・麻しん 1件

< 参考 > ・梅毒(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html
 ・梅毒に関するQ&A(厚生労働省) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/syphilis_qa.html

【配信元】
 千葉県安房保健所(安房健康福祉センター)
 あわつと感染症情報
awat-news@mz.pref.chiba.lg.jp